



邑智 *BLSO & JPTEC*

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもある。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP - 米国家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%がALSOをプログラムに導入している。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国でプロバイダーコースが開催され、16万人がALSOコースを完了した。

日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家庭医療学会から日本でのALSOセミナー運営権を取得し全国展開を行っている。2008年11月から3000名以上の受講者があり、産婦人科医師のみならず救急医やプライマリケア医、助産師・看護師、そして救急救命士等が受講した。

日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対するALSOプロバイダーコースに対し、ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSOの前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するために基本的なトレーニングコースとして作成されたのがBasic Life Support in Obstetrics (BLSO) プロバイダーコースである。日本におけるコースの内容は、妊婦の評価・分娩介助・新生児蘇生・救急車内分娩・産後大出血であり、BLSOコースを受講し、試験に合格した場合、参加者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効な認証を受ける事ができる。

ALSO-Japan

セミナー：邑智 BLS0&JPTEC

主催：邑智病院

共催：NPO 法人周生期医療支援機構（ALS0-Japan）

開催場所：邑智病院

日時：平成 27 年 9 月 12 日（土）10:00～18:00

費用：12,000 円

定員：12 名（公募なし）

備考：BLS0 翌日の 9 月 13 日（日）同会場で JPTEC を開催予定です。

邑智は JPTEC 発祥の地でもあります。